

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・寒くなってきたので衣類の動きが良くなっている。また、小旅行に出る年配の方が多くなっている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・来客数の動きがやや良くなっている。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・開店祝いの注文が多かった。年末に向けて11月にオープンする店が増えている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・11月に入り気温も前年並みになり、セーターをはじめとして冬物衣料の動きが良くなった。百貨店の主要顧客である55歳以上の来店が増えてきた。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・秋物商戦は当初苦戦したものの、その後は堅調に推移し、8月以降売上は前年を上回っている。衣料品や服飾雑貨もブランドストア中心ではあるが、回復の兆しが見えてきている。
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・売上は前年並みであるが、ここ数か月振るわなかった入店客数が前年を上回る見通しである。また、客単価、一品単価も前年を上回っている。部門別には、食料費には前年並み、子供服は好調であるが、ヤング、ミセス、紳士衣料品は伸び悩んでいる。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・仕入価格の値上げや食品偽装問題が多発し、小売業を取り巻く環境は一段と厳しくなっている。ただし今月は、気温が下がったことで鍋・ホットメニューを購入する機会が増え、野菜、肉、練物、乾物、調味類の動きが良くなり、単価を押し上げている。
		コンビニ（エリア担当・店長）	販売量の動き	・売上が上昇傾向にあり、単価の動きもよい。
		乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・新車の販売はずっと悪かったが、ここにきて前年を超えた。中古車の小売はますますである。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・月末になるにつれ、来客数が増えた。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・週末営業に活気が出てきており、グループ客が増えている。新規の客も以前に比べ少しずつ増えている。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・地域での大会、会議等のイベントが例年に比べ多く、来客数が増えている。
		競輪場（職員）	来客数の動き	・前年と比較すると、発売額、入場者とも増加傾向にある。
変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・販売量に加え、客の出足が悪く、来客数が激減している。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・冬物衣料の動きが少し鈍くなってきている。	
	商店街（代表者）	お客様の様子	・客は必要最小限のものを購入している。	
	商店街（組合職員）	来客数の動き	・商店街は、午前中は病院や銀行に行く中高齢者でにぎわっているが、午後からは極端に減少し、閑散としている。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・10月後半から始まった祭りにより、活気があった。ただし、気温が高く衣料品の厚物が少し伸び悩んでいる。	
	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	販売量の動き	・日増しに寒くなり、徐々に注文量も増えてはいるが、まだ例年ほどではない。会社事務所用の注文では、単価の値下げを要求されてくる所もあり、まだ厳しさがある。	
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・先月、先々月と落ち込んだが、何とか下げ止まった。	
	百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・セールを行っても、ついで買いのような買い方が全くなく、客単価が落ちている。一般的に流通では若い客の方が消費に対してかなりシビアであるが、年配客もかなりシビアになっている。	
	百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・気温が低下し、秋・冬物商品は好転した。一方、催事の日数減なども影響し、来店客数は3%程度減少した。	

スーパー（店長）	お客様の様子	・今月に入り、衣料品は気候の影響もありやや持ち直したものの、食品に関してはやはり特売時のウエイトが高く、なかなかまとめ買いがみられない。	
スーパー（店長）	単価の動き	・生鮮食品、一般食品にかかわらず、原材料高による需給のひっ迫が顕著になり始めた。特に水産物は産地問題や養殖関係のえさ代の高騰等により商品量の減少が始まっている。	
スーパー（店長）	お客様の様子	・客は、依然として必要な品を必要な時に最低限な量だけ購入しているが、最近では若干購入量を減らしている。原油高騰による消費の減退がうかがわれる。	
スーパー（総務担当）	単価の動き	・単価の変動はあまりないが、高額品の動きが若干鈍化している。	
スーパー（経理担当）	販売量の動き	・諸物価の値上げや食品偽装、安全問題などの影響がみられ、決して景気が良いとはいえないが、急激な寒さによる需要が大きいようで、販売量は前年並みを維持している。	
衣料品専門店	単価の動き	・最近では、客は安い手ごろなものばかりに目が行き、単価の高い物の動きが悪い。	
衣料品専門店（店員）	販売量の動き	・11月に入って寒くなったので、レディースはコートが売れ始め、チュニックワンピースも引き続き売れているので、前年を少し上回っている。しかしメンズが伸び悩み、全体の足を引っ張った。特にダウンやコートの売れ行きが悪い。	
衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・前半は大変厳しかったが、後半は催事により盛り返した。しかし、セール待ちの客も多い。	
家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・寒気が来ないため、季節商品がほとんど動かず、ボーナス商戦前の中だるみがみられる。	
家電量販店（企画担当）	単価の動き	・家電関係は同業競争が激しく、買い回って安いところで求めるという傾向がかなり強くなっている。	
乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・ガソリンが高くなり、軽自動車が多く利益が出ない。	
その他専門店 〔ガソリンスタンド〕（統括）	お客様の様子	・11月の燃料油の仕入価格は10月に比べ上昇し、客からは暖房器具自体を見直そうという話も聞かれる。燃料油の使用を節約する様子がうかがえる。	
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・福岡では相撲の九州場所があるが、全然人気がない。人が動かず来客も少ない。	
都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・4月以降、周辺地域でのイベント開催が昨年より減少している。また、ホテルの新規出店による室数の増加から客が分散し、当ホテルの来客数は減少が続いている。	
都市型ホテル（副支配人）	単価の動き	・例年に比べ団体客の規模が小さくなった。また、単価を気にする客が多くなった。	
旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・ガソリン高騰の影響が、日帰りバスツアーの予約が好調である。	
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・競合通信事業者のサービス提供エリアが拡大したが、現時点では大きなマイナス要因とはなっていない。	
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・11月はスポーツキャンプやスポーツトーナメントの観戦者が多く、団体・個人共ににぎわいをみせた。	
観光名所（職員）	来客数の動き	・観光施設の入場者は前年より5%程度落ち込んでいる。団体客、個人客ともなかなか伸びない。	
音楽教室	お客様の様子	・財布のひもが固い。堅実な人が増えた。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・イベントやセールをしても、来街客数、購買がかなり減っている。
	百貨店（営業担当）	単価の動き	・近隣に大型商業施設が開業したことで来客数、レジ客数とも減少したが、購買目的の来客が増えたため、買上単価は前年を上回った。毎年恒例の物産催事は、食品表示問題の影響で前年割れとなった。また、暖冬による婦人雑貨、重衣料の落ち込みが大きく、前年実績の確保は困難な状況である。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・入店客数の減少が見受けられる。また、入店してもなかなか購買につながらない。食品表示偽装の影響もある。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・来客数は増加したが単価は落ちており、売上は非常に厳しい。何か良いものがあれば買いたいという意欲はうかがえるが、活発に動くのはバーゲン品であり、正価品はなかなか売れない。

百貨店（業務担当）	お客様の様子	・原油高や株安等の報道から、消費に対してかなり慎重になっている。どうしても必要性のあるものを購入する客と、良いものであれば金額を気にせず買う客とで二極化しており、大半の客は慎重になっている。	
スーパー（店長）	単価の動き	・近隣に競合店が出店した影響もあるが、価格の値上がりから客単価が非常に低くなっている。前年に比べて40～50円下がるとみられる。	
スーパー（店長）	お客様の様子	・客の買物がカード会員を対象とした特売日と、お買い得日に集中する傾向が強くなり、食品のレジは異常なまでの混雑となっている。原油価格の高騰による食品メーカー各社の値上げやガソリン価格、灯油価格の値上げに対し、客の生活防衛意識が今までより高くなったということである。	
スーパー（総務担当）	それ以外	・ここ数か月、何とか前年並みに推移していた食料品が、ここに来て減少する状況が続いている。食品の値上げ報道に幾分左右されている様子が見受けられる。	
コンビニ（エリア担当・店長）	お客様の様子	・近くの大型スーパーが改装オープンしたため、2～3日は当店も客が増えたが、その後は元に戻った。郊外の大型スーパーに客が流れているようで、以前に比べ来客数は減っている。	
衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・急な冷え込みを受けて秋冬物衣料が動いている。23～25日にかけて商店街のイベントがあり、それにあわせて在庫品の一掃半額セールをし、結構さばけた。利益は取れないが、売上には貢献した。	
衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・来客数の減少に加え、店頭の上売が悪く、秋物の残品が例年より多い。特にミセス婦人服、着物、寝具、リビング製品の売上が減少した。ヤング衣料品、宝飾品はブランド物が好調でよく売れたものの、店全体の売上は前年比4%減であった。	
家電量販店（店員）	来客数の動き	・地元企業のなかでも中小企業の状況はかなり厳しく、購買意欲も上がってこない。	
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・ここ半年ほど販売量が前年より減少しており、そろそろ下げ止まりかと思われたが、依然として前年を下回る状況は続いている。	
住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・合同展示会の売上は良かったが、自社店舗での来店、売上は相変わらず厳しい。	
高級レストラン（経営者）	競争相手の様子	・近所の割烹旅館は、旅行シーズンというのに週末でもほとんど電気がついていない。	
タクシー運転手	お客様の様子	・客数は増えたが、客単価などはあまり良くないので、変わらない。	
タクシー運転手	お客様の様子	・団体客は増えているが、夜の街に出る人が少ない。	
タクシー運転手	来客数の動き	・忘年会を一次会だけで終わらせる客が多い。	
タクシー運転手	来客数の動き	・従来なら夜の忘年会が始まっている時期であるが、今年はしないという客の声が多くなり、なかなか売上が上がらない。	
通信会社（業務担当）	来客数の動き	・11月は既存商品の価格が下がらなかったため既存客の買換え件数が少なく、新商品待ちの雰囲気が強かった。来店客数が極端に少ない。	
競馬場（職員）	来客数の動き	・自家用車で来場する客数が減少している。ガソリン価格の高騰が理由とみられる。	
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・資産運用関係の土地についての問い合わせは若干あるが、住宅用の土地に関する一般客からの問い合わせは減ってきている。	
悪く なっている	一般小売店〔青果〕（店長）	それ以外	・今月に入り、客単価、来客数、客の消費マインドとも大きく低下した。それが中央市場の相場にも現れている。大型野菜が地元から出るということもあるが、卸売価格が前月の半値になり、競合店もかなり苦しい状況にある。
	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・気候の寒暖の差があり、この時期の主力商品であるおでん、中華まん等の販売数が大幅に減少し、売上全体でも前年比割れとなっている。また、ガソリン、灯油の値上げから、客の買上点数が少なくなり、今後も売上改善の兆しはみられない。
	その他専門店〔書籍〕（店長）	来客数の動き	・原油の異常な値上がりから派生する諸物価の値上がりで、財布のひもが固くなってきている。特に生活必需品ではない書籍、雑誌に買い控えが現れている。

		高級レストラン (専務)	来客数の動き	・前年に比べ来客数が少なくなっている。客は財布のひもがかなり固くなっており、もう1品、もう1杯がなかなか出ない状況である。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	農林水産業(従業者) 金融業(得意先担当)	受注価格や販売価格の動き 取引先の様子	・飼料の値上がりは非常に厳しいが、販売価格が上がっているため、少しは良くなってきている。 ・年度末に掛けて、市や県からかなりの公共工事の発注が出て、ようやく建業業も潤ってきた。ただし、件数はかなり出たが1件当たりの金額が小さいので、予断を許さない。
	変わらない	農林水産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・加工メーカーの年末年始用の生産で、加工原料用の肉の引き合いが特に強かった。スーパー・居酒屋関係は食品表示問題で少し陰りが出てきたが、それでも前年とは比較にならないくらい伸びている。
		食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・注引量は増えているが、原材料や包装資材、光熱費のコストアップがあるため、良くなっていない。
		窯業・土石製品製造業(経営者)	取引先の様子	・当社では久しぶりに量販店の企画等を受注できたため、今のところ忙しい。しかし、商社のお話を聞くと、専門店では注文が少なくなり、見本会のような状態になっているとのことである。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・発注側の効率化から、一部では仕事の内製化が始まっており、当社の仕事量が減ってきた。
		通信業	受注量や販売量の動き	・通信事業の不透明さから工事の設備投資が遅れ、受注量が低迷している。
		金融業(調査担当)	取引先の様子	・貸出金残高は前年比微増で推移しているが、不動産関連の貸出しの比率が高く、中小企業の需要の力強さはない。
	やや悪くなっている	家具製造業(従業員)	受注量や販売量の動き	・住宅やマンション着工が法改正に伴い大幅に遅れているため、家具の出荷に影響が出ている。住宅産業関連は軒並み20%近く落ち込んでいる。
		一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量が減少しており、特に自動車関連が低迷している。
一般機械器具製造業(経営者)		受注量や販売量の動き	・客の引き合い物件の量が減って、当面の仕事の確保が大変な状況にある。	
電気機械器具製造業(経営者)		取引先の様子	・電子部品(半導体・コネクタ)関連、精密機械部品の全般的な状況は、取引先の大企業、中堅企業とも10月末から11月にかけて急速に動きが鈍くなり、悪くなった。	
輸送用機械器具製造業(経営者)		受注価格や販売価格の動き	・購入品の価格は上がったが、販売価格は下がっている。	
建設業(総務担当)		受注量や販売量の動き	・進ちょく率の高かった工事が完成間近になったが、新規着工は全くない。小額の仕事はあるが、利益の拡大にはつながらない。	
輸送業(総務担当)		受注量や販売量の動き	・今月は衣料品、食料品、その他の商品も荷動きが悪かった。	
金融業(営業職渉外係)		取引先の様子	・取引先に業況不振先が増えてきており、倒産も相次いでいる。原油高や物流量の減少で運送・卸売業者の業況が厳しい。	
		その他サービス業[物品リース](従業員)	受注量や販売量の動き	・受注量が確実に減少しており、そのため買掛金支払いも減少し、資金繰り的にも手元流動性がだぶつき気味になってきている。
		悪くなっている	繊維工業(営業担当)	取引先の様子
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	雇用形態の様子	・正社員で雇用する企業が増えてきている。
	変わらない	人材派遣会社(社員)	求人数の動き	・求人数は増えているが、なかなか人が見つからず求人を出し続けている企業もあり、必ずしも景気が良くなり人手が足りないからという理由ではない。
		新聞社[求人広告](担当者)	周辺企業の様子	・自動車産業を始めとする製造業で雇用需要があり、求人広告も堅調だが、流通・サービス部門への波及効果までは難しい。
職業安定所(職員)		求人数の動き	・求人は増加しているが、業種によりばらつきがあり、全体として景気は回復していない。	

	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・求職者の就職件数はここ3か月伸びている。特にパートの伸びが大きく、前年より10～15%ほど伸びてきている。流れとしては変わらない。
	学校〔大学〕（就職担当者）	求人数の動き	・平成21年3月卒業対象者の求人に関する企業からの相談や問い合わせが増加しており、企業側の求人意欲は高水準で推移している。加えて、平成20年3月卒業対象者向けの求人問い合わせも届いている。
やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数がぼったりと止まっている。企業側の採用を控える傾向が派遣にも及んでいる。
	求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・建築基準法の改正の影響が出てきていると聞かされることが多くなった。特に建築業界は裾野が広いだけに、先行きが不安がある。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・先週末、中心部のアーケードでイベントを行ったが、師走直前にもかかわらず人出が少なく活気が無かった。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・月間有効求人倍率は3か月前と比べて下がっており、新規求人数は減少してきている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・建設、製造、運輸業を中心に、10月の新規求人が前年比12%減少した。
	民間職業紹介機関（社員）	求人数の動き	・例年、下期に事務派遣、販促派遣需要が高まってくるが、依頼数が伸びてこない。年末年始の季節的な販売社員需要も例年並みで、大きな盛り上がりには欠ける。団塊の世代の再就職が労働需要を一服させている可能性がある。
	民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・長期契約の人材募集が、前年より1割程度少ない。また、年末年始の期間限定の販売応援の求人数が、前年より2割ほど少ない。
悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・長期の派遣求人が少ない。販売スタッフなど、クリスマス商戦や年末年始の単発案件も少ない。